

事業継続マネジメント(BCM)

事業継続能力向上に向けた取り組み

富士通およびグループ会社は、社会インフラを担う企業としての社会的責任を果たすため、各事業や拠点単位における事業継続上の課題を整理・分析し、事業継続能力の強化・向上を目的とした訓練を継続的に実施しています。

事業継続におけるマネジメント、教育・訓練の実施、目標復旧時間以内に事業を再開するための対策などについて、到達レベルを調査・評価することで事業継続能力の強化・向上を図っています。これにより富士通およびグループ会社における達成すべき評価指標（レベル）の明確化、達成に向けた施策の実施を通して、適切な BCM 活動（作業負荷や投資の最適化）を推進しています。

BCM に関するスペシャリストの育成

BCM の普及・定着・改善を図るために、BCP の本質を理解し実際の BCM 活動を適切に運用できるスペシャリストを育成し、自部門や自社での BCM 活動を推進しています。

感染症対策

富士通およびグループ会社は、「生命の安全確保」、「感染拡大の防止」、「事業継続」の 3 つを柱とした感染症対策の基本方針を示した「感染症対策ガイドライン」に基づいて、新型インフルエンザ、新型コロナウイルスを含む感染症に関する対策を講じています。

上記ガイドラインに加え、新型インフルエンザ・新型コロナウイルスなど、特性の異なる感染症に対して、それぞれ「基本行動計画」を策定しており、今後新たな感染症危機が発生した場合においても対応計画策定を迅速に行い、感染予防と感染拡大防止策を実施するとともに、事業継続による社会的責任の遂行に取り組んでいます。

サプライチェーン全体の BCM 強化

不測の事態発生時に製品・サービスを安定的に供給するためには、サプライチェーン全体の事業継続能力強化が不可欠です。富士通およびグループ会社は、お取引先様の事業継続能力の向上への支援など、サプライチェーン全体での BCM 活動を推進しています。詳細は、こちらをご参照ください。

- ・ お取引先とともに「サプライチェーン BCM の強化」

<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/procurement/>